

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		13-	2
事業名	水道事業会計		会計 特会	款	項 目
施策	4	快適なまち	課名	上下水道課	
	4-2	良好な生活環境のまちをつくる	係名	工務係	
	4-2-2	上下水道の整備			
主要施策	⑤経営安定化の推進				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	上水道施設	目的 (対象がどのような状態になっているか)	上水道の安定供給のため、水道施設更新計画及び経営戦略に則り、事業を着実に推進し、経営効率化や収入確保対策を行い経営基盤の安定化を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原水及び浄水費・・・水源地等施設の動力費、点検委託料、修繕費等に係る費用</li> <li>・配水及び給水費・・・公道漏水等修繕費、検針人賃金等配水及び給水に係る費用</li> <li>・総係費・・・4名分人件費、電話料金等通信運搬費等に係る費用</li> <li>・減価償却費・・・有形固定資産等の減価償却費</li> <li>・その他・・・固定資産除却費、貯蔵品減耗費、その他営業費用、企業債利息</li> <li>・水道拡張費・・・新低区配水池築造工事、その他施設更新工事</li> <li>・企業債償還金・・・企業債元金償還金</li> </ul>			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度(目標)
	1	指標なし	※事業が多岐に亘り、事業費でしか指標を設定できず、また、					
	2		年度により事業費が増減する可能性があるため					
	3							
	4							
	5							
			令和元年度(決算)		令和2年度(決算)		令和3年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B			875,615		605,240		728,745	
財源 内訳	直接事業費 A		849,215		578,840		702,345	
	うち一般財源		99,700		100,800		125,600	
人件費(千円) B			26,400		26,400		26,400	
内訳	一般職員(人・千円)		4	26,400	4	26,400	4	26,400
	臨時職員(人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	C削減の余地が大きい
総合評価	VI 縮小(他の事業との統合又は縮小すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	改正水道法に基づき、適正な施設の維持管理の実施等、資産管理を推進するとともに、近隣市町との広域連携や民間活用等を検討し、健全で持続可能な事業運営を行う。	③取組の課題	水道施設更新計画に基づき更新投資を進めていく必要がある一方、水道料金は、人口減少など水需要の低下が想定される中、定期的に料金の見直しをする必要がある。
②R2年度に実施した取り組み	水道施設更新計画に基づき、第三水源地の電気設備の更新工事を実施した。	④今後の改善計画	水道施設更新計画及び水道事業経営戦略に沿った事業を進めるとともに、費用の縮減や合理化を図るため、包括委託や広域化、コンセッション方式等の選択肢の中から各施策が町民に及ぼす影響にも十分な配慮をしつつ、事業全般を見据える中で慎重に検討を進め、今後の施策を定めていく。